

宣言

ぜんこく さんざい わ とくしゅぶらくみん だんけつ
全国に散在する吾が特殊部落民よ團結せよ。

なが あいだいち き きょうだい か こはんせいきかん しゅじゅ ほうほう おお ひとびと
長い間虐められて来た兄弟よ、過去半世紀間に種々なる方法と、多くの人々
とによってなされた吾等の爲めの運動が、何等の有難い効果を齎らさなかつた事
じつ それら われわれ また た ひとびと つね にんげん ほうとく
實は、夫等のすべてが吾々によって、又他の人々によって毎に人間を冒瀆されて
ゐた罰であったのだ。そしてこれ等の人間を 勤るかの如き運動は、かえって多く
の兄弟を墮落させた事を想へば、此際吾等の中より人間を尊敬する事によって
みずか かいほう もの しゅうだんうんどう おこ むし ひつぜん
自ら解放せんとする者の集團運動を起せるは、寧ろ必然である。

きょうだい われわれ そせん じゅう びょうどう かつごうしゃ じっごうしゃ ろうれつ
兄弟よ、吾々の祖先は自由、平等の渴仰者であり、實行者であつた。陋劣なる
かいきゆうせいさく ぎせいしゃ おとこ さんぎょうてきじゆんきょうしゃ かわ は
階級政策の犠牲者であり男らしき産業的殉教者であつたのだ。ケモノの皮剥ぐ
ほうしゅう なまなま にんげん かわ は と しんぞう さ だいか
報酬として、生々しき人間の皮を剥ぎ取られ、ケモノの心臓を裂く代償として、
あたか にんげん しんぞう ひきさ くだ ちょうしゅう つば は のろ
暖い人間の心臓を引裂かれ、そこへ下らない嘲笑の唾まで吐きかけられた呪
はれの夜の悪夢のうちにも、なほ誇り得る人間の血は、涸れずにあつた。そうだ、
そして吾々は、この血を享けて人間が神にかわらうとする時代にあつたのだ。犠牲
しゃ らくいん な かえ とき き じゆんきょうしゃ けいかん しゆくふく とき
者がその烙印を投げ返す時が来たのだ。殉教者が、その荊冠を祝福される時が
きたのだ。

われわれ こと ほこ う とき き
吾々がエタである事を誇り得る時が来たのだ。

われわれ ひくつ ことば きょうだ こうい そせん はづか にんげん
吾々は、かならず卑屈なる言葉と怯懦なる行爲によって、祖先を辱しめ、人間を
ほうとく ひと よ つめ ど つめ にんげん いたわ こと
冒瀆してはならぬ。そうして人の世の冷たさが、何んなに冷たいか、人間を 勤る事
が何んであるかをよく知ってゐる吾々は、心から人生の熱と光を願求禮讚する
な し われわれ ころ じんせい ねつ ひかり がんぐらいさん
ものである。

すいへいしゃ うま
水平社は、かくして生れた。

ひと よ ねつ にんげん ひかり
人の世に熱あれ、人間に光あれ。

大正十一年三月 水平社

※上記の文章は、読みやすいよう原文の一部の表記を現代仮名遣いに変更し、かつ、ふりがなを付しています。